

玄関

あっ！車いすを使う人が上がれない！！
高齢の人や、妊娠している人は、
玄関の段差に気をつけないとなあ。



ぼくの家では、
スロープで上り下り
できるよ！

玄関を広くしておいたから、
いすを置いて、
楽に靴を脱いだり履いたり
できるわ！

妊娠している人も
安心だね。

なるほど、
スロープが使えるのか。
広くしておいて
良かった！

●手すりの下地補強



安全・安心

●玄関の段差に注意

・踏みはずさないように、段を分かりやすくしておこう。

●手すりを付けて安全に

・段差のあるところには、手すりを付けると安心だね。

つながり

●サービスの受けやすさ

・外出しやすいことって大事だね。(出入口の段差、戸の形状など)
・訪問入浴など介護サービスも受け入れやすいし、宅配物や配達弁当も受取りやすいね。

ニーズの変化

●玄関は広く

・靴を脱いだり履いたりするためのいすが置けるよ。
・スロープが置いて、車いすを使う人にとっても便利だね。
・ベビーカーも置けるね。

●手すりの下地補強*をしておく

・必要になった時に手すりを付けられるように、壁に下地補強があるといいね。

* 壁の裏に合板などを入れて補強すること。

廊下

子どもたちが
廊下を走り回ってる……。
転んでケガしないか心配だなあ。
あっ！車いすを使う人が
こっちへやってきた！



幅が広いから、
手すりが付いていても、
廊下が通りやすいなあ。

●手すりの下地補強

今は片側だけ手すりがあるけど、
将来は反対側にも付けられるように、
下地補強をしたよ！

敷居に段差が無いので、
つまずきにくいわね。

わーい
わーい！

ニーズの変化

●廊下の幅

・廊下を少し広くしておく、後で楽だね。(目安として幅90cm以上。メーターモジュール*にするなど)
・廊下と各部屋の床仕上げをそろえると、間取りが変えやすいよ。

快適

●部屋の扉を使いやすく

・引き戸は使いやすいね。
・扉の幅が広いといいね。(80cm以上)
・取っ手は使いやすい形がいいね。(ドアノブ型よりも棒状にするなど)
・向こうが見通せる扉は、内・外の様子が分かって安全だね。

安全・安心

●廊下における事故を防ぐ

・転ばないように、すべりにくい床にしておくといいね。
・廊下の角をとがらせない工夫があるね。危険な箇所は色の違う材料を使うと分かりやすいよ。

●手すりを付けて安全に

・廊下も手すりを付けると安心だね。

* 1mを基準として設計すること。今までの木造の住宅は、3尺(91cm)を基準にしている住宅が多い。